日本サエコ株式会社

本　　社：〒141-0032 東京都品川区大崎1-6-4 大崎ニューシティ4号館3F
TEL.03-5436-8860 FAX.03-5436-8890
大 阪 支 店：〒531-0071 大阪市北区中津1-12-3 中津パークビル4F
TEL.06-6292-7812 FAX.06-6292-7813
技術・流通センター：〒226-0022 神奈川県横浜市緑区青砥町385
TEL.050-5525-7025 FAX.045-938-5066
infor@saeco.co.jp　www.saeco.co.jp

意匠、仕様など改良のために予告なく変更することがあります。

Talea
Touch

取扱説明書

製品をご使用になる前に、本取扱説明書を必ずお読みください。
また安全上のご注意をきちんとお読みください。

安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください

- ここに示す注意事項は本製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や周囲の方々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。
- 本製品のご使用前に、取扱説明書や箱の中の印刷物を必ずお読みください。
- 取扱説明書は必要なときにいつでも見られるよう、分かりやすい場所に保管しておいてください。
- ご不明な点は、弊社技術・流通センター（TEL：050-5525-7025）へご連絡ください。

各注意事項は、誤った使い方で生じる危害や損害の程度を次の表示で区分しています。

⚠ 警告	誤った取扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。
	誤った取扱いをすると、「人が損傷を負う、または物的損害の発生が想定される」内容を示しています。

各絵表示は以下を示しています。

⚠	△記号は、警告・注意を示します。 △の中や近くに具体的な注意内容が描かれています。
	⃠記号は、禁止を示します。 ⃠の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。
	●記号は、強制を示します。 ●の中や近くに具体的な指示内容が描かれています。

⚠ 警告

電源は「15Ａ　125Ａ」と記載されている壁面のコンセントから直接お取りください。またタコ足配線はしないでください。火災の恐れがあります。

電源は交流100Ｖ　50／60Hzをご使用ください。火災の恐れがあります。

アース線を必ず確実に取り付けてください。
故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

濡れた手でプラグを抜き差ししないでください。また差し込む時は根元までしっかりと差し込み、抜く時は電源コードを持たず、必ずプラグ部分を持って、抜いてください。感電やショート、発煙、発火、またケガをする恐れがあります。

⚠ 警告

差し込みプラグに埃が付着している場合は、よく拭き取ってください。
火災の原因となります。

電源プラグ、コードを破損するようなことはしないでください。火気の近くでは使用しないでください。　変異・故障の原因となります。

電源コードに重いものを乗せたり、挟み込んだり、加工したり、また無理に曲げたり、引っ張ったり、束ねたりなど、傷つけないようにしてください。
コードが破損をし、感電や火災の原因となります。

電源コード、プラグ、マシン本体などを水につけたり、水をかけたりしないでください。　ショート・漏電の恐れがあります。

電源コードや差込プラグが痛んだり、コンセントの差込がゆるい時は、使用しないでください。　ショート・漏電の恐れがあります。

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化による感電、漏電火災の原因になります。

独自の改造や分解は絶対にしないでください。また製品のカバーを取り外したり、中のパーツに触れないでください。　火災・感電・ケガの原因となります。

お子様だけで使用したり、幼児の手の届くところで使用しないでください。
ヤケド、ケガの原因となります。

本製品を使用中は、手や電気コードがコーヒー抽出口やスチームノズル、カップウォーマー等、熱を帯びる部分に触れないでください。
ヤケドや破損の原因となります。

パナレロ（スチーム・給湯ノズル）を使用中は、ノズルから非常に高温の蒸気や熱湯が噴出しますので、噴出口に手や顔を近づけたり、触れないでください。
ヤケドや破損の原因となります。

製造元が推奨するもの以外の付属機器のご使用は決してしないでください。
火災、感電、障害の危険を及ぼす可能性があります。

本製品を本来の使用目的以外には使用しないでください。
火災、故障の原因となります。

万が一、異常が発生した場合には、直ちに電源を切り、プラグをコンセントから抜いてください。

⚠注意

不安定な場所には設置をしないでください。
破損やヤケドの原因となります。

水や火気の近くでは使用しないでください。また壁や家具の近くで使用しないでください。　故障・破損の原因となります。また壁や家具を傷め、変色変形の原因となります。

水タンクには温かいもしくは熱いお湯を入れないでください。
製品が正常に稼働しない恐れがあります。

使用時以外やクリーニングの前にはコンセントからプラグを外してください。またパーツの取り付け、取り外し、クリーニングは製品が冷めてから行ってください。
ヤケドの原因となります。

洗剤をご利用の場合は台所用洗剤を使用してください。クレンザーなどの研磨剤の入った洗剤は避けてください。水に浸した柔らかな布でクリーニングしてください。　破損の原因となります。

マシン内部に付着した石灰質（スケール）の除去のために、除石灰剤を用いた除石灰作業を定期的に行ってください。　故障の原因となります。

使用後は必ずお手入れをしてください。（本文P33を参照ください）
故障の原因となります。

電源コードをテーブルやカウンターの縁から垂らしたり、製品の熱を帯びる部分に触れないようにしてください。　ケガ、破損の原因になります。

屋外では使用しないでください。

高温ガス、電気コンロの上や近く、熱したオーブンなどの近くへ置かないでください。

本製品には衝撃を与えないようにしてください。　故障の原因となります。

一般事項

このエスプレッソマシンはコーヒー豆、もしくは挽いた粉末コーヒーを使ってエスプレッソやコーヒーを作るのに適しており、スチームやお湯を供給する装置も備えています。
マシンは家庭向けの用途に設計されており、業務用のような過酷な使用条件には適していません。

警告：以下に記載した原因による損傷は責任を負いかねます。
・本来の目的に反する間違った使用による場合
・修理が弊社指定のサービスセンターで行われなかった場合
・電源コードを改ざんされた場合
・マシンのどこかを改ざんされた場合
・オリジナルではないスペアパーツや付属部品を使用された場合
・除石灰作業を行なわなかった場合やマシンを摂氏0度以下で使用した場合（華氏32度以下）

これらの場合、保証は無効となりますので、予めご了承ください。

使用者の安全の為に、三角印の警告は全ての重要な注意点を示しています。大きな傷害事故を避けるため、これらの注意書きをしっかり守ってください。

取扱説明書の利用方法

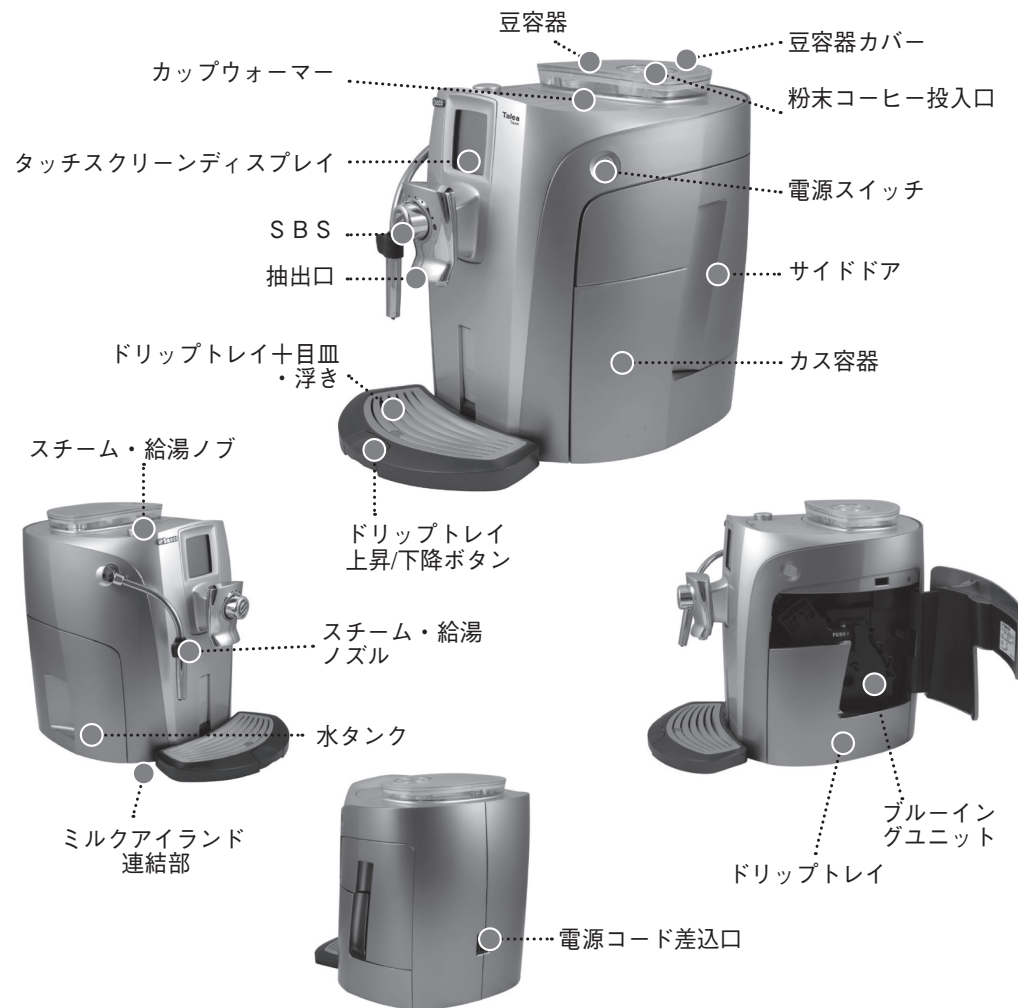
本取扱説明書は安全な場所に保管して下さい。そして本エスプレッソマシンを使用すると思われる全ての人が利用できるようにしておいて下さい。さらに詳しい情報については弊社技術・流通センター（TEL：050-5525-7025） にお問い合わせください。

後日の参照のために、本取扱説明書はきちんと保管してください。

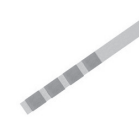
製造番号について

本体サイドドア内側に製造番号（シリアル番号）のシールを貼付しています。

シールは絶対に剥がさないでください。これらの表示内容は全て、サービスセンターにメンテナンスをご依頼される際に必要となる重要な情報です。

Saeco.
Via Torretta 230 – Gaggio M. – Bo – Italy
TYPE : SUP 032AR
230 V ～ 50 Hz 1500 W
SERIAL Nr.9006SA40283648
Cod. 10000243 MADE IN ITALY

アクセサリー

アクアプリマ

粉末コーヒー用
メジャースプーン

水硬度測定紙

クリーニングブラシ

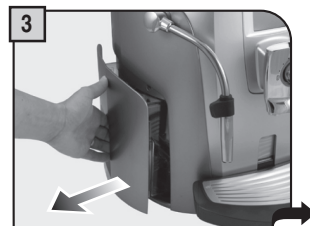
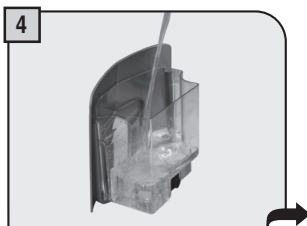
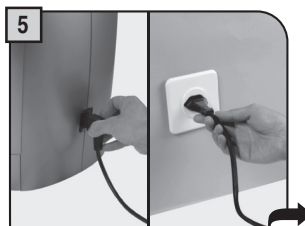
豆の挽き粗さ調節キー

電源コード

セットアップ

電源がOFFになっていることを確認してください。

豆容器カバーを外して、コーヒー豆を入れます。

ボタンを押しながらカバーを閉じてください。

水タンクを取り外します。水タンクにはアクアプリマの装着をお勧めします。（P10参照）

水タンクに水を入れて、マシンに取り付けてください。水タンクの「MAX」の印以上に水を入れないでください。

マシンに電源コードを取り付け、コンセントに差し込んでください。（データタグ参照）

給湯ノズルの下に何か容器を置きます。

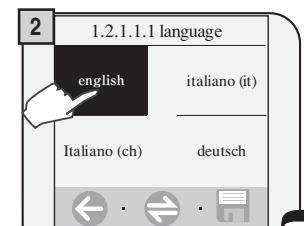
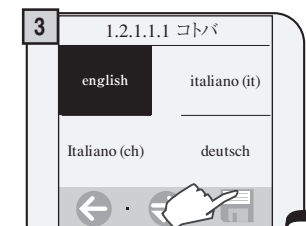
電源ボタンを押し、メインスイッチをONにしてください。

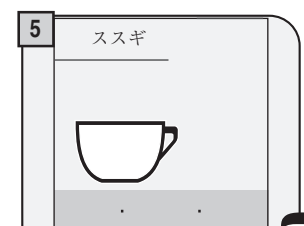
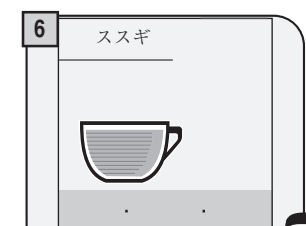
所定の温度に達すると、マシン内部の水経路への呼び水供給とリンスサイクルを開始します。少量の水が出てきます。マシンが自動的にこのサイクルが完了するまでお待ちください。リンス機能を使用する／しないに関してはP24を参照のこと。ディスプレイに飲料抽出のための画像が現れます。（P11参照）

水の硬度測定についてはP25をご参照ください。

言語のセッティング

これらの設定で、マシンが使用される国での標準抽出量の範囲が調整できます。そのため、場所によって言語も区別されます。

もし必要であれば、ご希望の表示言語を表示するためにキーを押してください。

ご希望の表示言語を選びます。

を押してください。

マシンが加熱段階を完了するまでお待ちください。

所定の温度に達すると、マシンは水経路のリンスサイクルを実施します。

少量の水が出てきます。自動的にこのサイクルが完了するまでお待ちください。この機能を使用する／しないに関してはP24参照。

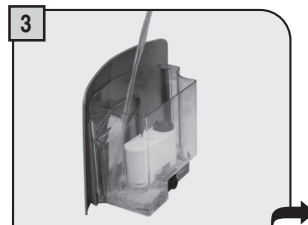
飲料抽出のための画像が現れます。

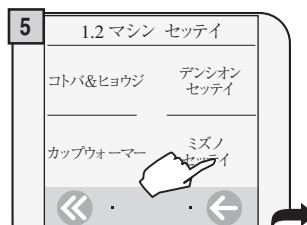
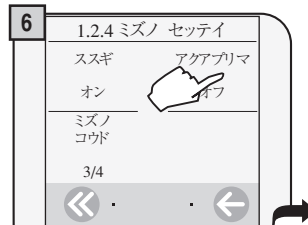
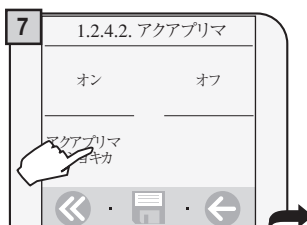
P28の記載にしたがって、マシン日時を設定してください。

アクアプリマ

水質の向上と同時にマシンの寿命を延ばすために、アクアプリマを装着をお勧めします。
取り付け後、フィルター初期化プログラムに入ってください。(プログラミング参照)
このモードに入るとアクアプリマの交換が必要になった時に表示されます。

アクアプリマをパッケージから取り出し、日付をあわせます。

空の水タンクにアクアプリマを差し入れ、正しい位置に差し込んでください。(図を参照)

水タンクに水を入れ、30分間放置します。

スチーム・給湯ノズルの下に容器を置いてください。

プログラミングにアクセスします。(P21, 22参照)
“ミズノセッテイ” を押してください。

“アクアプリマ” を押します。

“アクアプリマショキカ” を押してください。

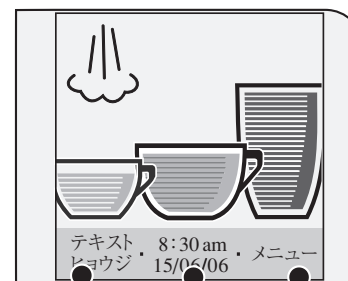
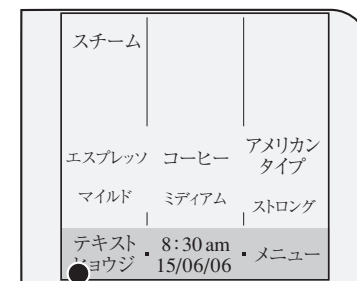
新しいアクアプリマの起動を確認するため ✓ キーを押してください。

ノブを の位置まで回してください。水が出てきます。

プログラムが終了すると、close steam knobメッセージがディスプレイに現れます。
ノブを(●)の停止位置まで戻します。必要なら水タンクに再度水を補充してください。
これでマシンの使用準備が整いました。そしてアクアプリマのコントロールも開始されます。

ディスプレイは「アイコン表示」もしくは「文字表示」のどちらかを選択することができます。

文字表示

スチーム
エスプレッソ　コーヒー　アメリカン タイプ
マイルド　ミディアム　ストロング
テキスト ヒョウジ　8:30 am 15/06/06　メニュー

「文字表示」に変更　「時計メニュー」に入ります。　「プログラミングメニュー」に入ります。　「アイコン表示」に変更

・抽出したいコーヒーのアイコンを押すと、自動的に抽出が始まります。

・アイコンを2回押すと2杯分、抽出されます。

POTI−DOSE(適量投与)は一杯当たりのコーヒー豆量を表示します。

アイコンの色の濃淡は、各コーヒーメニューについて挽かれるコーヒーの豆量を表しています。

ライト

ミディアム

ストロング

粉末コーヒーで抽出、または好みに合せてプログラミングするとディスプレイのカップに星印が表示されます。(ドリンクのプログラミング参照)

粉末コーヒー

プログラミング済

コーヒーの濃さ

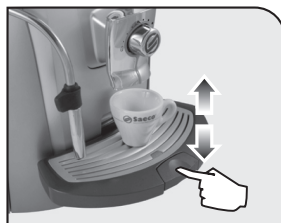
SBS（サエコ ブルーイングシステム）はコーヒー濃度調節のために設計された特許です。ダイヤルを回すだけで、コーヒーの濃度を設定できます。

SBS（サエコ ブルーイングシステム）
SBSシステムで抽出コーヒー濃度を設定できます。抽出している間でも可能です。この設定ですぐにそれにみあった味わいに変化します。

ドリップトレイの高さ設定

ドリップトレイの高さは調整できます。そのため、どんな種類のカップでも使用可能です。

ドリップトレイを上げるにはボタンの下部を軽く押し、下げる時は、ボタンの上部を軽く押します。良い位置までいったところで手を放して下さい。

注：ドリップトレイの中にある赤い浮きはトレイを空にする必要があると警告します。

コーヒーグラインダー調整

コーヒーグラインダーは使用されるコーヒーの種類に合わせて微調整が可能です。

調整は豆容器内のピンを押して行います。
行うには供給されている専用キーでピンを押し回しながら、１度に１ノッチ（刻み）調整し、２ー３カップ程度のコーヒーを抽出してください；グラインダーの設定状況の確認はこの方法で行ってください。
コーヒーの粒の径の設定は容器内の基準値を参照してください。

コーヒー抽出は“STOP COFFEE”を押せば、いつでも停止できます。

スチーム・給湯ノズルは高温になります：火傷の恐れがありますので、素手で触れないでください。

２杯同時抽出を行う時は、マシンは入力された量の半分をまず抽出してから短時間中断します。そして２度目のコーヒーを挽き、その後、コーヒー抽出が再開、抽出して完了となります。

エスプレッソ/コーヒー/ロングコーヒー

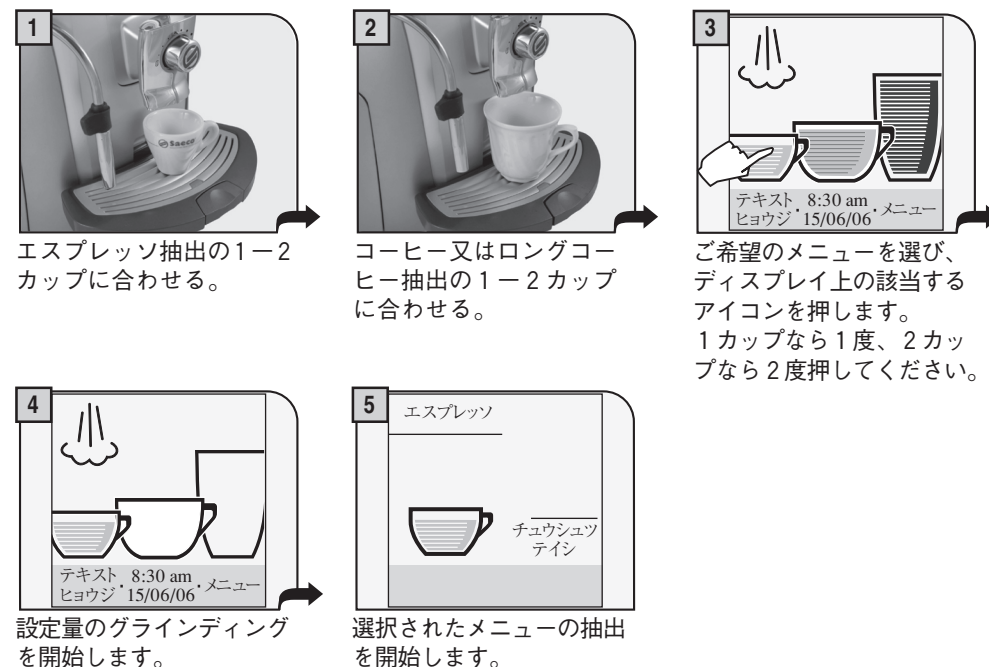
この手順はエスプレッソの作り方を表しています。他のタイプのコーヒーを抽出する場合には、それに見合ったアイコンを押します。カップは抽出量にあったデミタス又はコーヒーカップをご利用ください。そうでないと溢れてしまいます。

エスプレッソ抽出の１ー２カップに合わせる。

コーヒー又はロングコーヒー抽出の１ー２カップに合わせる。

ご希望のメニューを選び、ディスプレイ上の該当するアイコンを押します。
１カップなら１度、２カップなら２度押してください。

設定量のグラインディングを開始します。

選択されたメニューの抽出を開始します。

マシンが決められた基本量に基づき、抽出をして自動的に終了します。お客様によるメニュー設定も可能です。**P19参照**

粉末コーヒーによる抽出

マシンは粉末コーヒーや及び粉末のカフェインフリーのコーヒーを抽出できます。粉末コーヒーは豆容器の横にある所定の投入口に投入されなくてはなりません。ご利用いただけるのはエスプレッソ用に挽かれたコーヒーです。コーヒー豆やインスタントコーヒーは使用できません。(P19の“ドリンクプログラミング”セクション参照)

警告：粉末コーは抽出したい時にのみ、所定の抽出口に入れてください。一度に付属のメジャースプーン一杯の粉末コーヒーを入れるようにしてください。同時に二杯分のコーヒーは抽出できません。

粉末コーヒーによる抽出準備は以下の例を参照してください。粉末コーヒーの選択は選択したメニューアイコンにアスタリスク付きで表示されます。

1
1杯用にカップを一つ置きます。

2
所定のアイコンを押します。ディスプレイが表示します：

3
所定の投入口へ粉末コーヒーを投入するようにメッセージが表示されます。

4
付属のメジャースプーンで所定の投入口へ粉末コーヒーを投入して下さい。

5
“スタート”を押すと抽出を開始します。

6
マシンが選定されたメニューを抽出します。

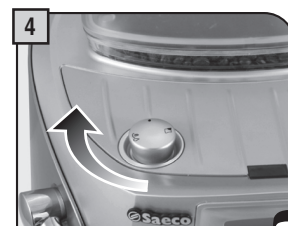
注：
- **もし、メッセージ（3）が表示されてから30秒以内に抽出を開始しなかった場合、マシンはメインメニューに戻り、投入されたコーヒーはカス容器に排出されます。**
- **もし、粉末コーヒーが投入されていない場合は、水だけ抽出されます。**
- **もし、コーヒー投入量が過剰、又は二杯以上ある時はマシンはコーヒーを抽出せず、投入口内のコーヒーはカス容器に排出されます。**

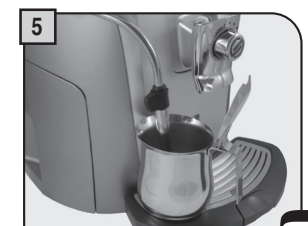
給湯機能

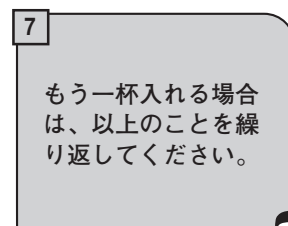
**初めに少しスチームが噴霧され、続いて熱湯が出てきます。スチーム・給湯ノズルは高温のため素手では触れないでください。
適切なハンドルのみ、ご利用ください。**

1
スチーム・給湯ノズルの下にカップを置いてください。

2
アイコンを押します。

3
“オユ”を選択してください。

4
このマークまでノブを回してください。

5
お好みの量まで入れます。

6
お好みの量まで達したら、ノブを停止位置(●)まで戻してください。

7
8
メインメニューに戻るには⊗を押してください。

9
注：もしディスプレイに給湯のアイコンが表示されていたら、ステップ4の通り、ノブを回すだけで給湯ができます。

スチーム機能（飲料の温め）

初めに少しお湯が噴霧され、その後スチームが出てきます。スチーム・給湯ノズルは高温のため素手では触れないでください。
適切なハンドルのみ、ご利用ください。

1

温めたい飲料の入ったカップをスチーム・給湯ノズルの下に置いてください。

2

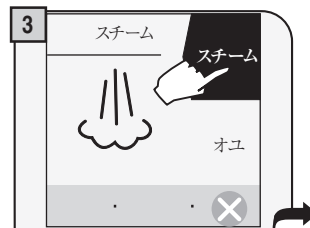
アイコンを押します。

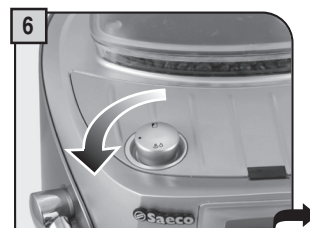
3

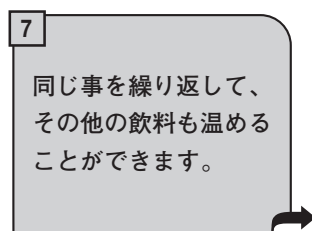
“スチーム”を選んでください。

4

ノブを♨💧の位置まで回します。

5

飲料の温め：温めの最中はカップを少し回して動かしてください。

6

温めが終了したら、ノブを停止位置（●）まで戻します。

7

同じ事を繰り返して、その他の飲料も温めることができます。

8

メインメニューに戻る時には⊗を押してください。

9

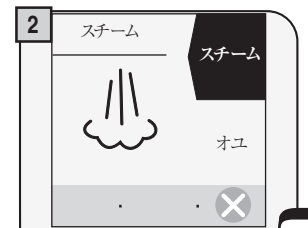
使用した後は、P 39の記載の通りスチーム・給湯ノズルをクリーニングして下さい。
注：もしディスプレイがスチームアイコン♨を表示していたら、ステップ４の通りノブを回すだけでスチーム機能が利用できます。

カプチーノ

初めに少しお湯が噴霧され、その後スチームが出てきます。スチーム・給湯ノズルは高温のため素手では触れないでください。
適切なハンドルのみ、ご利用ください。

1

冷たいミルクをカップへ1/3ほど入れてください。

2

“スチーム”機能を選択します。（P16のステップ2、3参照）

3

スチーム・給湯ノズルをミルクの中に差し入れてください。

4

ノブを♨💧の位置まで回します。

5

ミルクの泡立て：ミルクの泡立て中は、カップをゆっくり回して動かしてください。

6

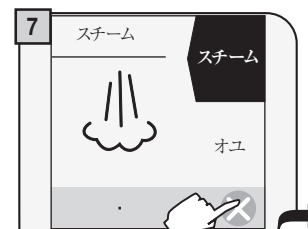
泡立てが終了したら、ノブを停止位置（●）まで戻します。

7

メインメニューに戻るには⊗を押してください。

8

抽出口の下にカップを置く。

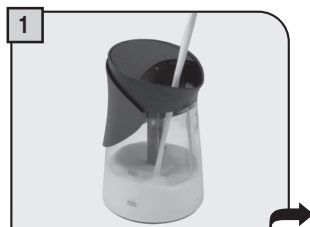
9

コーヒー抽出のため、アイコンを１回押してください。

スチーム使用後はP39に記載された通り、スチーム給湯ノズルをクリーニングして下さい。
２杯のカプチーノを作る場合：
- 以下の１から６のステップに従い、２杯分のミルクを泡立ててください。
- 7から９のステップに従い、２杯分のコーヒーを抽出してください。（抽出したいコーヒーのアイコンを2度押します。）

この装置で（オプションとして購入できます）、簡単においしいカプチーノを作ることができます。

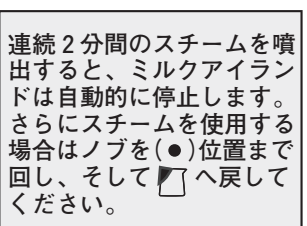
警告：正しくミルクアイランドを使用するために、マニュアルの事前注意を良くお読みください。

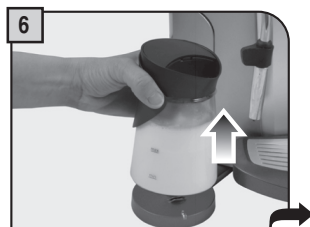
重要事項：ミルクピッチャー内のミルクの量は“MIN”レベルを以下でも“MAX”レベル以上であってもいけません。ミルクアイランドの使用後は、全ての構成部品を十分に洗浄してください。

最上のカプチーノを作るためには（摂氏0～8度/華氏32～45度）の冷たいミルク、部分脱脂粉乳の使用をお勧めします。

ミルクピッチャーに必要量のミルクを入れてください。（表示されているMINからMAXの間で）

ミルクピッチャーをミルクアイランドのベース上に置きます。ベースのライトがグリーンになっているか確認してください。

ノブを の位置まで回します。

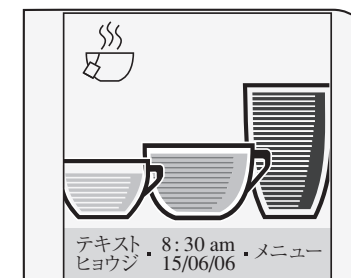
ミルクが泡立つまで、お待ちください。

連続２分間のスチームを噴出すると、ミルクアイランドは自動的に停止します。さらにスチームを使用する場合はノブを（●）位置まで回し、そして へ戻してください。

ミルクがお好みの状態まで泡立ったら、ノブを停止位置（●）まで戻してください。

黒いハンドル部分を持ってミルクピッチャーを外してください。

ミルクピッチャーを優しく回しながら、カップへミルクフォームを注いでください。

ミルクフォームの入ったカップを抽出ノズルの下に置きます。そしてコーヒーを抽出して下さい。

ドリンクプログラミングメニュー

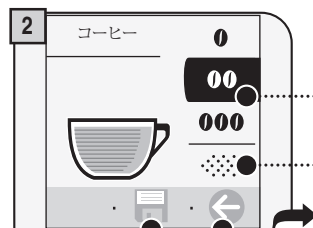
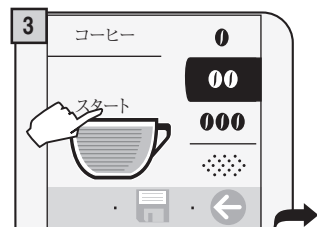
各メニューはお好みによりプログラミングが可能です。お好みに合わせたメニューには、アイコンの上に星印がつきます。

お好みに合わせてプログラミングすると、その特別メニューに合わせて抽出されます。コーヒー抽出量などを変更する場合は、再度プログラミングして下さい。

お好みのメニューのプログラミング

メニューのアイコンを２秒間押し続けてください。

エスプレッソ／ブレンドコーヒー／アメリカンタイプ

お好みの設定をしたいメニューのアイコンを押します。(符号するアイコンを2秒間押してください)

このメニューで設定可能なこと：

スタートを押すことで、マシンはコーヒー抽出の用意を始めます。

“スタート”が押されると、マシンは抽出を実行します。

標準設定に従って、メニューが抽出されます。

出荷時設定のコーヒー量を変更したい場合は、抽出が終わる前に“チュウシュツリョウセッテイ”を押し、お好みの量になったら、“チュウシュツテイシ”を押してください。

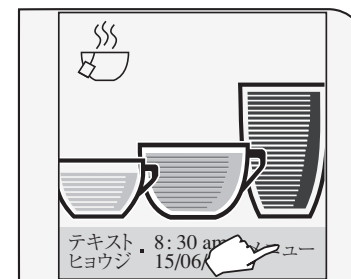
メニュー抽出を停止するには、“チュウシュツテイシ”を押してください。これが抽出停止をする唯一の方法です。ボタンを押さないとコーヒーが溢れてしまいます。

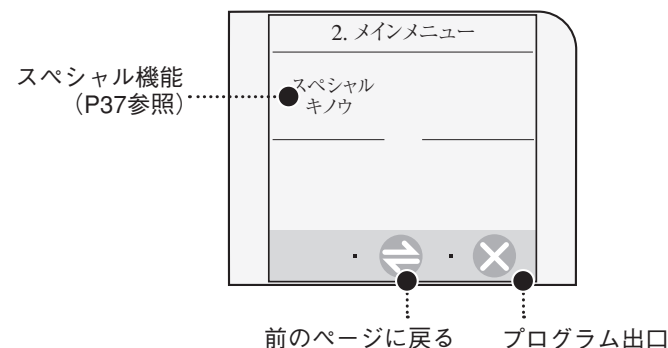
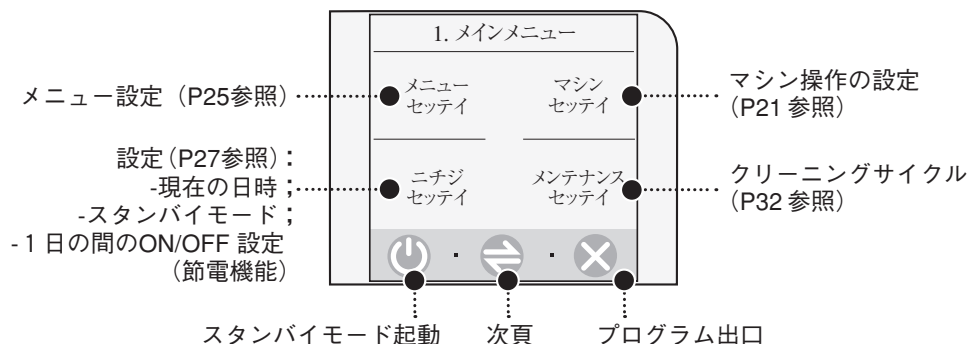
抽出が終わったら、5秒以内に を押してください。

を押さないとメインメニューに戻ってしまい、お好みの設定は保存されません。

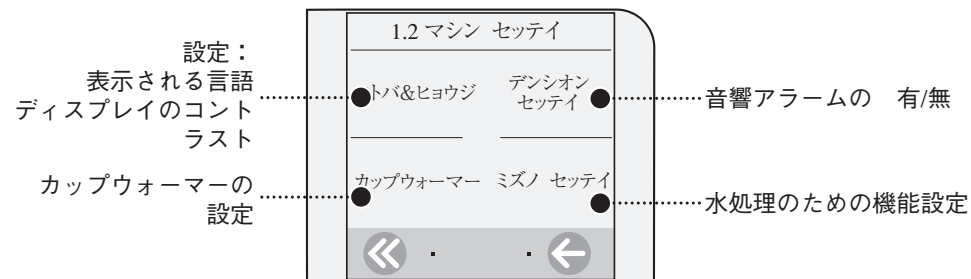
ディスプレイにメニュー設定が終了したサインが表示され、メインメニューに戻ります。

マシンの設定

マシン機能の一部はお客様のお好みの合わせて設定することができます。

“メニュー”を押してください。

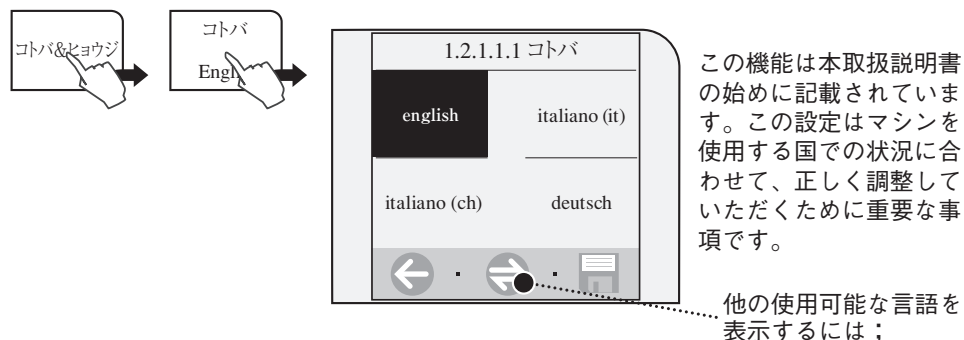
メインのプログラムメニュー

各々の以下のメニュー設定後、
- を押すと、新しい設定は保存されず前ページに戻ります。
- を押すと、保存されます。
- を押すと、新しい設定は保存されずメインメニューに戻ります。

マシンの設定

マシン設定が選択されると以下の画面が現れます。
このメニューで設定可能なこと：

<表示言語とディスプレイ>《言語》メニュー

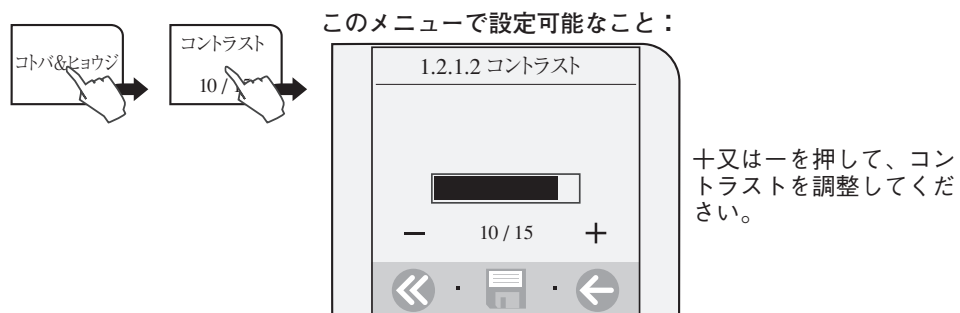
表示される言語の変更を行うには、“コトバ&ヒョウジ”を押し“コトバ”を押してください。

この機能は本取扱説明書の始めに記載されています。この設定はマシンを使用する国での状況に合わせて、正しく調整していただくために重要な事項です。

他の使用可能な言語を表示するには；

<表示言語とディスプレイ>《コントラスト》メニュー

ディスプレイの正しいコントラストを設定。
“コトバ&ヒョウジ”を押し“コントラスト”を押してください。

このメニューで設定可能なこと：

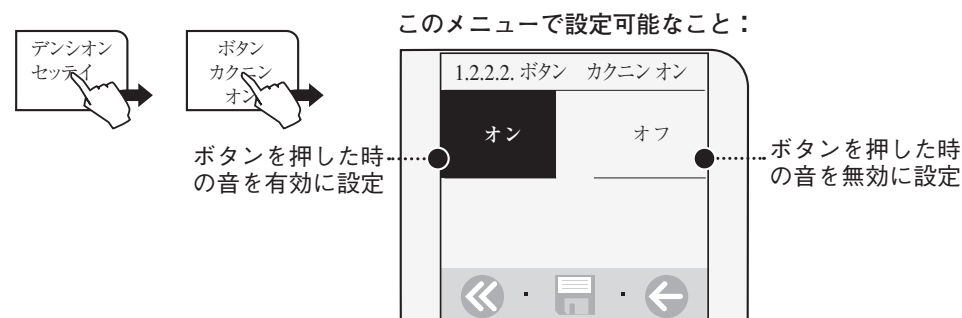
十又は一を押して、コントラストを調整してください。

<警報と音響設定><マシン準備>メニュー

マシン準備完了の音は常時 有効/無効 に設定することができます。“デンシオン セッテイ”を押して、“ジュンビカンリョウ オン”を押してください。

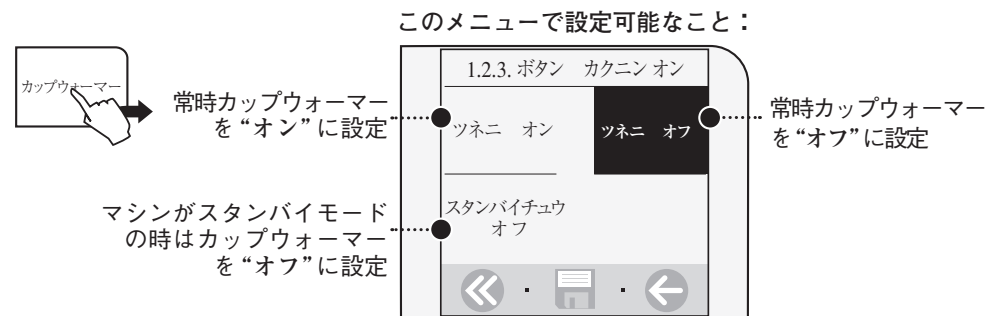
このメニューで設定可能なこと：

<警報と音響設定><ボタン押しの音>メニュー

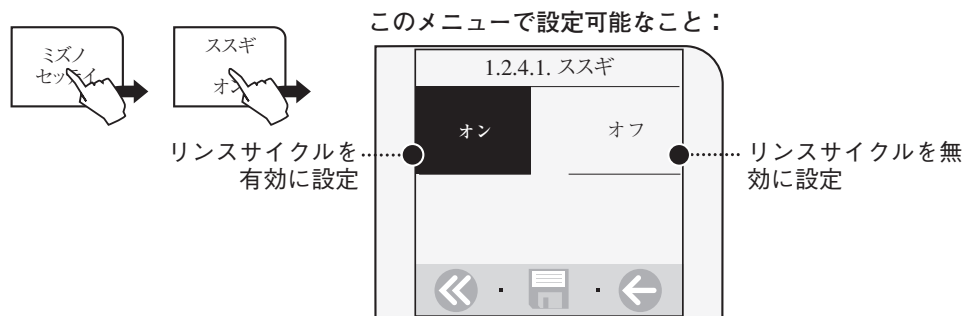
ボタンを押す時の音は常時 有効/無効 に設定することができます。“デンシオン セッテイ”を押して、“ボタン カクニンオン”を押してください。

このメニューで設定可能なこと：

《カップウォーマー》メニュー

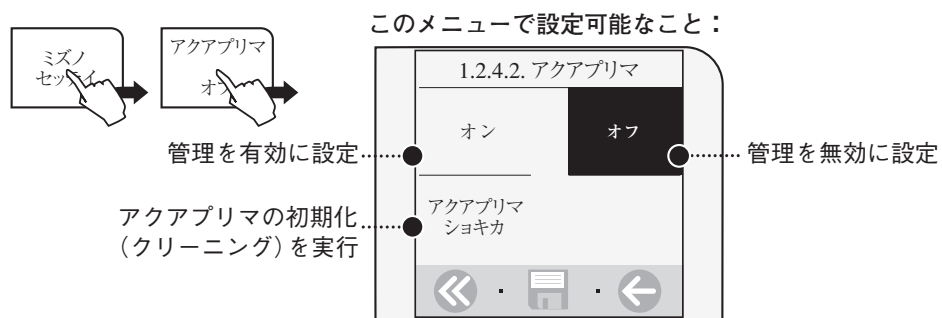
マシン上部のカップウォーマーの設定を行うには、“ボタン カクニンオン”を押してください。

このメニューで設定可能なこと：

＜水の設定＞＜リンス（すすぎ）＞

メニューが必ず新鮮な水で作られることを保証するため、内部水経路をクリーニングする機能です。この機能は、製造元で初期設定されています。
注：このリンスサイクルは電源をONにした際、ウォームアップ終了後、常時行われます。
“ミズノ　セッテイ”を押し“ススギ”を押してください。

このメニューで設定可能なこと：

＜水の設定＞＜水フィルター＞メニュー

アクアプリマ交換アラームの有効／無効の設定
マシンはアクアプリマの交換が必要になると、警告表示にて知らせます。
“ミズノ　セッテイ”を押して“アクアプリマ”を押してください。

このメニューで設定可能なこと：

重要事項：この設定はユーザーが正しいメンテナンスを実行できるように自動的に調整するものです。
選択：
オン：P10に見られるようにアクアプリマが水タンク内に装着されている時のみ設定してください。この機能は“アクアプリマ　ショキカ”を選択すると自動的に有効になります。
オフ：アクアプリマを装着しない場合
アクアプリマ　ショキカ：新しいアクアプリマを装着した時、実行してください。

＜水の設定＞《水の硬度》メニュー

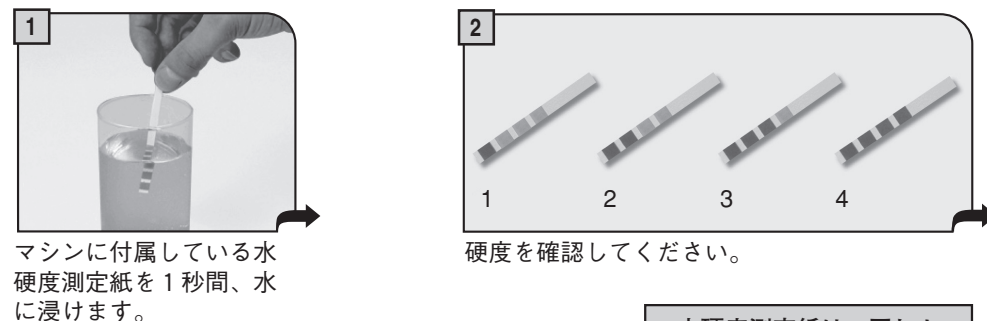
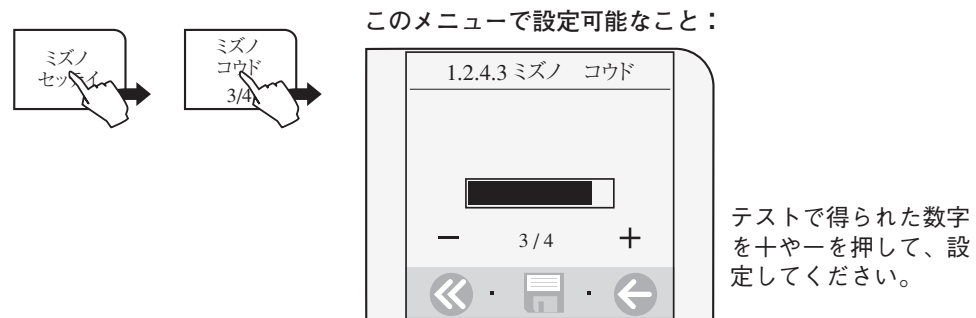
“ミズノ　コウド”設定により、使用する水の硬度を設定することができます。これにより、マシンは適宜除石灰作業の警告を表示します。
水の硬度は1～4で表されます。マシンは出荷時、あらかじめ3に設定されています。
“ミズノ　セッテイ”を押し、“ミズノ　コウド”を押してください。

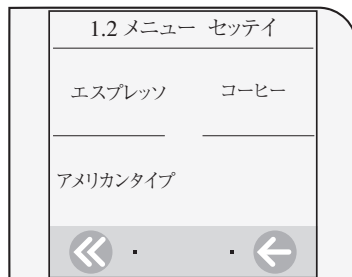
マシンに付属している水硬度測定紙を1秒間、水に浸けます。

硬度を確認してください。

水硬度測定紙は一回しか計測できません。

このメニューで設定可能なこと：

テストで得られた数字を十や一を押して、設定してください。

メニューの設定

各種コーヒーの一般的な抽出条件を設定するためには、メインメニューの“メニューセッテイ”を押してください。

各メニューの設定で可能なこと；

各設定値の下に現在の状態が示されます。

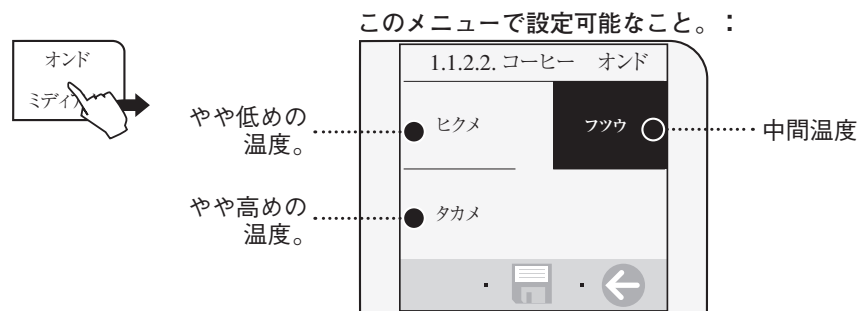
<プレブルーイング（蒸らし機能）>設定

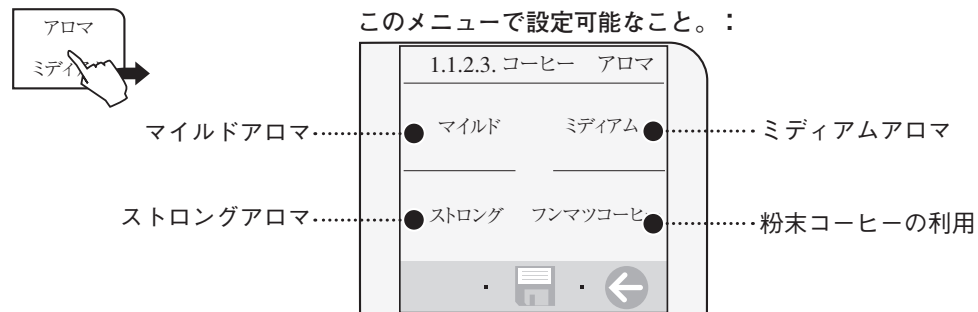
プレブルーイング（蒸らし機能）抽出設定：本抽出の前に、コーヒーを若干湿らせてその味と香りを十分に引き出すためのプレブルーイング（蒸らし機能）が設定できます。
“プレブルーイング”を押してください。

このメニューで設定可能なこと。：

コーヒー温度設定

コーヒー温度の設定。“オンド”を押し、お好みの温度を設定して下さい。

このメニューで設定可能なこと。：

<適量投与>一杯あたりのコーヒーの豆量設定

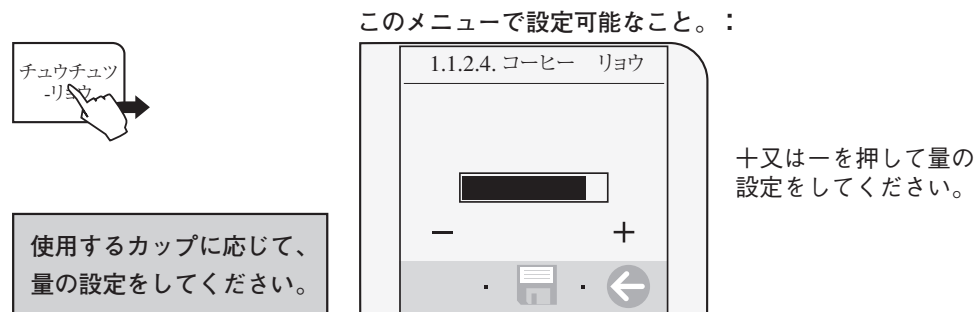
グラインドされるコーヒー量（適量投与）や使用する粉末コーヒーの設定
コーヒーの量に応じた、お好みのメニュー調節をしたり、プレグラインド機能を用いてカフェインフリーのコーヒーの抽出設定も可能です。

このメニューで設定可能なこと。：

できあがりの量の設定

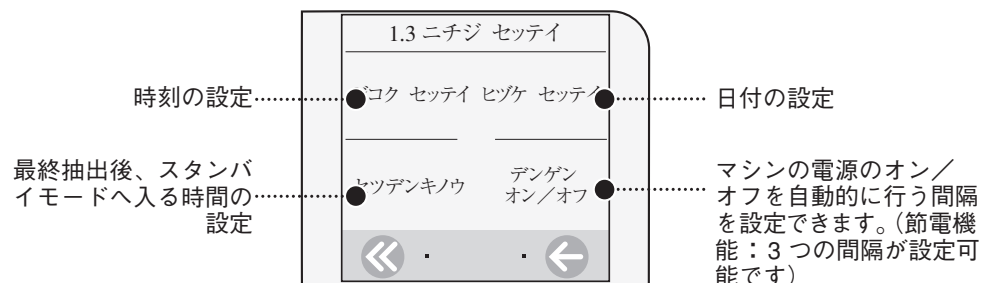
コーヒー抽出に使用する水量を設定します。“チュウシュツ-リョウ”を押してください。

このメニューで設定可能なこと。：

十又は一を押して量の設定をしてください。

使用するカップに応じて、量の設定をしてください。

日時設定

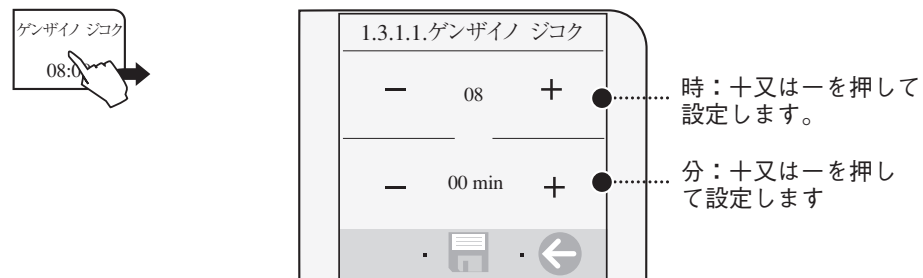
現在時刻、スタンバイタイマー及び節電機能の設定が可能です。メインメニューの“ニチジセッテイ”を押してください。

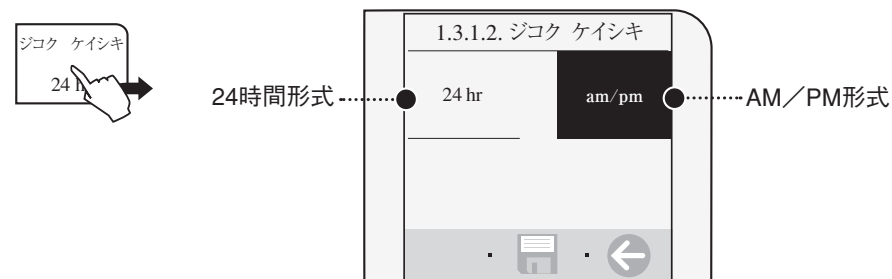
このメニューで設定可能なこと。：

時刻の設定

マシンの電源オン／オフ(節電機能)のために時計は正確にセットしておくことが重要です。“ジコク　セッテイ”を押してください。

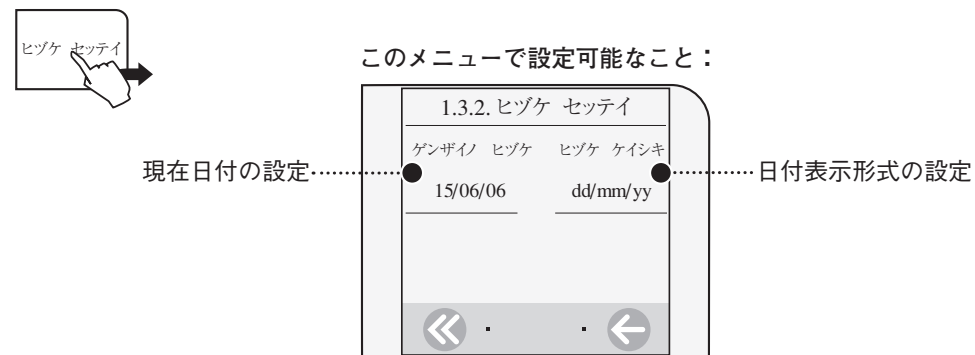
このメニューで設定可能なこと。：

現在の時刻の設定

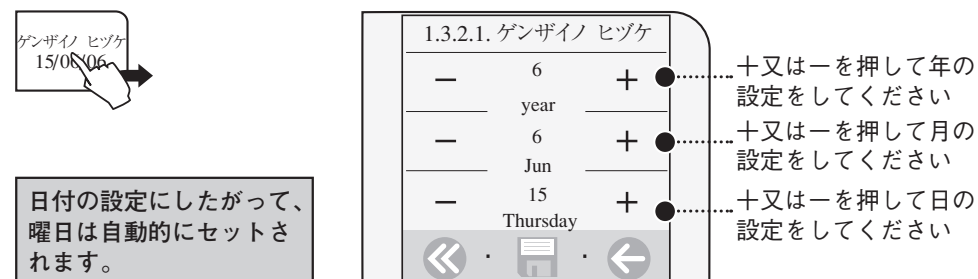
マシンの現在の時刻を設定します。“ゲンザイノ　ジコク”を押してください。

時刻形式の設定

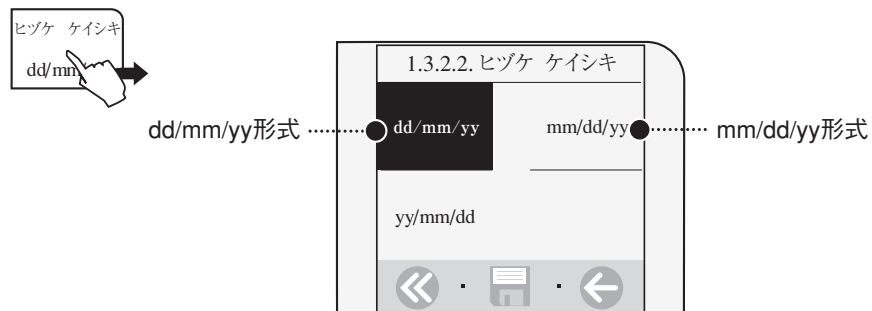
時刻表示形式の設定。この変更は時刻の表示/設定に関する全てに適用されます。“ジコクケイシキ”を押してください。

日付の設定

マシンの電源オン／オフ(節電機能)のために日付は正確にセットしておくことが重要です。“ヒヅケ　セッテイ”を押してください。

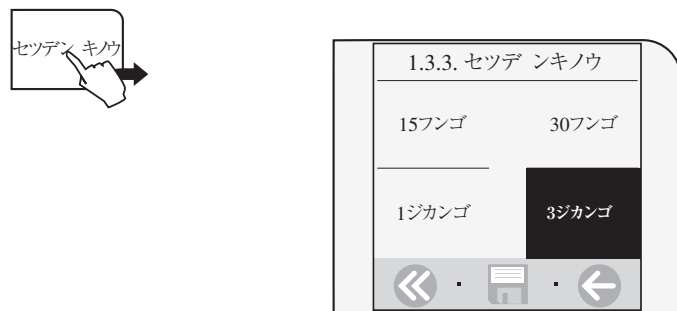
このメニューで設定可能なこと：

現在日付の設定

マシンの現在日付の設定。“ゲンザイノ　ヒヅケ”を押してください。

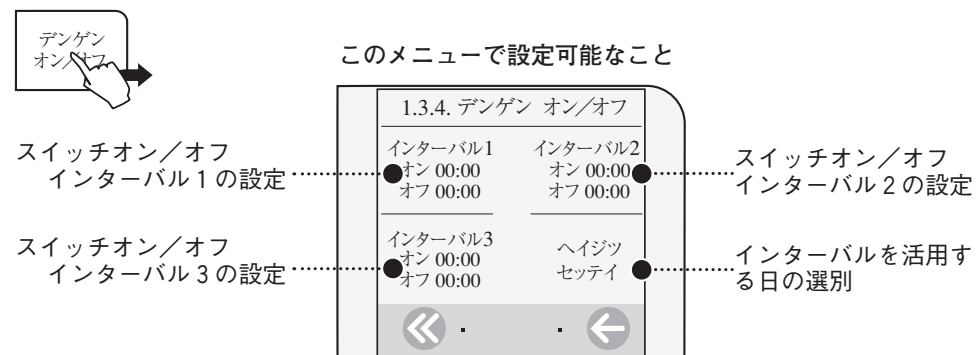
日付の設定にしたがって、曜日は自動的にセットされます。

日付表示形式の設定

日付表示形式の設定：この変更は日付の表示/設定に関する全てに適用されます。“ヒヅケ ケイシキ”を押してください。

スタンバイモードの設定

マシンが最終抽出後にスタンバイモードに入るまでの時間を設定できます。

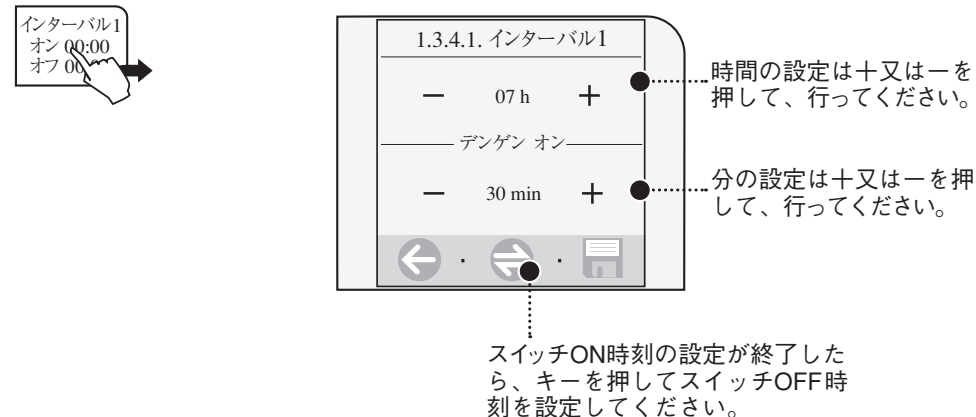
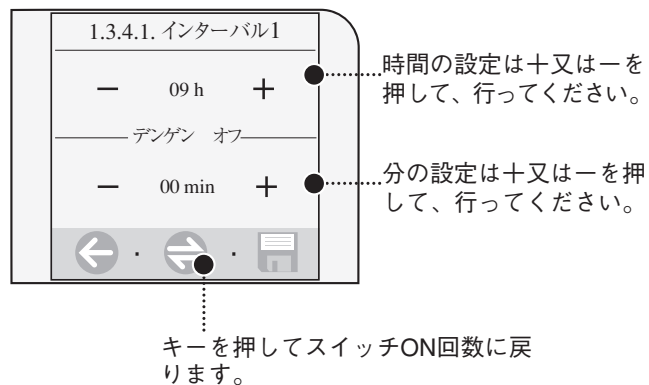
初期設定は＜3時間後＞です。
“セツデンキノウ”を押してください。

設定時間が経過するとマシンはスタンバイモードに入ります。スタンバイモードから出るには“スタート”を押してください。ウォーミングアップと自己診断を実施した後、再度、使用可能な状態に戻ります。

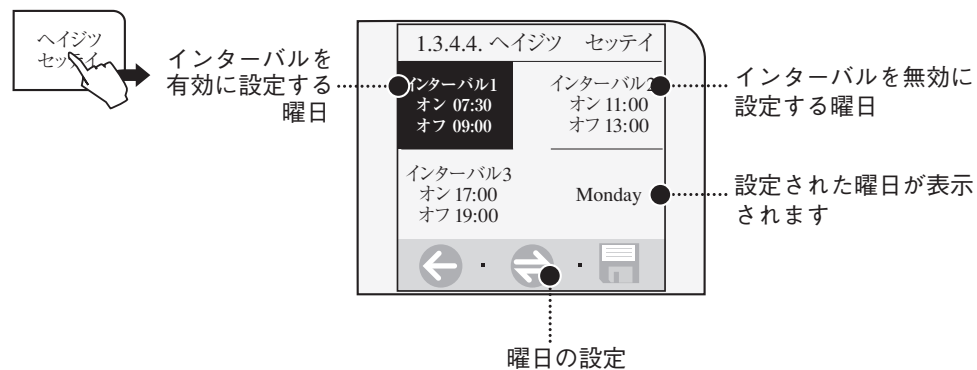
マシン　オン／オフ

この設定を行うことにより、設定された頻度でマシンはON（使用可能な状態）とOFF（節電の状態）を切り替えます。これは主電源ボタンが押されている状態でのみ、実施されます。

以下の条件が正しく設定されなくてはなりません。
-マシンオン／オフの個々のインターバル
-これらインターバルを活用する日

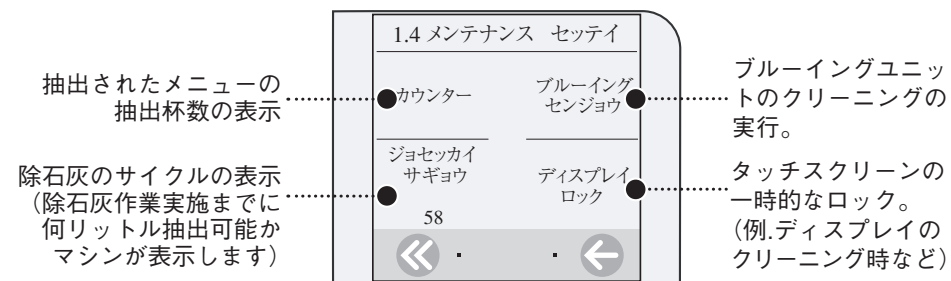
マシンスイッチONのインターバルが重複しないようにしてください。

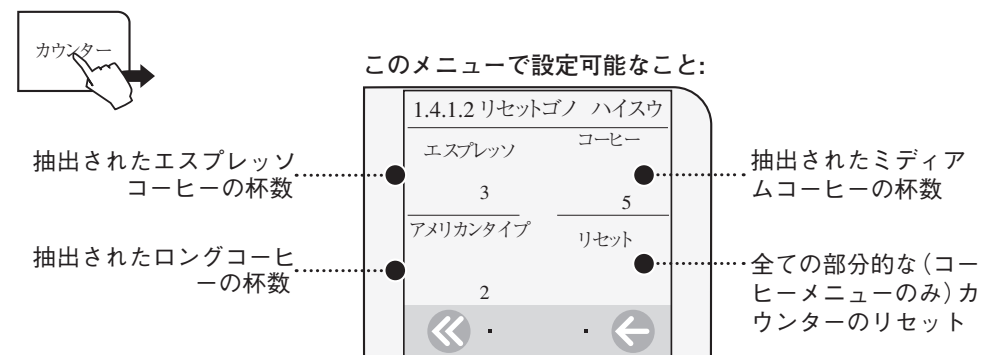
マシンスイッチONのインターバル設定

マシンスイッチONのインターバルを設定するためには、設定したいインターバルのキーを押してください。例“インターバル1”を押す。

毎日におけるスイッチONの設定

曜日をスクロール表示させて、インターバルを活用したい曜日を設定してください。

毎日のインターバルを各種設定できます。

メンテナンス設定

マシン内部水経路のクリーニング/メンテナンス管理を行ってください。
メインメニューの“メンテナンス　セッテイ”を押してください。

<メニュー別抽出杯数のカウント><部分カウント>メニュー

この機能は最終リセット後の全てのコーヒーメニューにおける抽出杯数を表示します。カウンターを押し、“リセットゴノ　ハイスウ”を押してください。

＜クリーニングサイクル＞メニュー

コーヒー抽出に使用されるマシン内部水経路をクリーニングします。
ブルーイングユニットの洗浄はP40の通り、簡単に水洗いできます。
このクリーニングではブルーイングユニットのメンテナンスができますので、専用の洗浄剤（サエコ　クリーニングタブレット）の使用をお勧めします。別売りとなっていますが、小売店でお求めできます。

注：この機能を実施する前の確認点：

1．スチーム・給湯ノズル下に十分な大きさの容器を置いてください。
2．ブルーイングユニット洗浄用のタブレットを粉末コーヒー投入口に投入してください。
3．水タンクに水を補充してください。

クリーニングサイクルは中断できません。
操作中はマシンから離れないでください。

“ブルーイング　センジョウ”を押してください。

指示された通り、クリーニングタブレットが投入されたかを確認してください。“yes”を押します。

クリーニングサイクルが終了するまでお待ちください。（約4分）マシンはメインメニューに戻ります。

＜ボイラー除石灰サイクル＞メニュー

自動除石灰サイクルの実施。
除石灰は毎3－4ヶ月ごと、あるいはマシンがそれを指示した場合に実施する必要があります。マシンがスイッチをONにされると、自動的に除石灰剤の供給が開始されます。

操作中はマシンから離れないでください。
警告！除石灰剤として酢は決して使用しないでください。

サエコ　デカルリキッドをお勧めしますが、通常のお店でお求めできるコーヒーマシンにとって毒性や有害でない、除石灰剤であれば使用できます。使用後の溶液は製造元の手引きあるいは使用国での現行の規定に基いて処理してください。

注：除石灰サイクル実施前の確認点：
1．スチーム・給湯ノズルの下に十分な大きさの容器を置いてください。
2．アクアプリマを外してください。

“ジョセッカイ　サギョウ”
を押してください。

除石灰は適正温度で実施されます。もし、マシンが冷えていた場合、適正温度に達するまで少しお待ちください。
熱すぎる場合は、以下の手順でボイラーの温度を下げてください。

“yes”を押して開始します。

スチーム・給湯ノズル下に十分に大きな容器を置いてください。

ノブを の位置まで回してください。

上記のメッセージが表示されたら、ボイラーは正しい温度になりました。

除石灰剤を水タンク内に注いで水を補充し、マシンにセットしてください。

ボタンを押して、作業を開始してください。

マシンは給湯のラインを通って除石灰剤を何回かに分けて抽出します。抽出は、より効果を高めるために所定の間隔をあけて行われます。

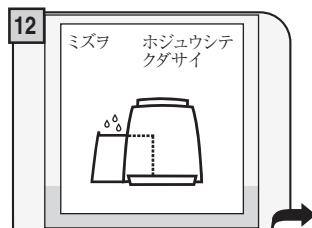
除石灰の過程が確認できるように、上記の表示が表示されます。

除石灰剤の溶液を使い切ると以下のメッセージが表示されます。

水タンクを外して、除石灰剤が残らないように新鮮な飲料水ですすいでください。その後、新鮮な飲料水で再度水タンクを満たしてください。

水タンクをセットしてください。

キーを押して、マシン水経路のリンス（すすぎ）を行ってください。

マシンがリンスサイクルを実施します。リンスサイクル中にマシンが水タンクの水の補充を要求するかもしれません。

リンスサイクルが終了したら以下の画面が表れます。水タンクを外してください、アクアプリマを再びセットして下さい。（もし必要なら）、そして新鮮な飲料水で満たしてください。

ノブを停止位置（●）まで回してください。

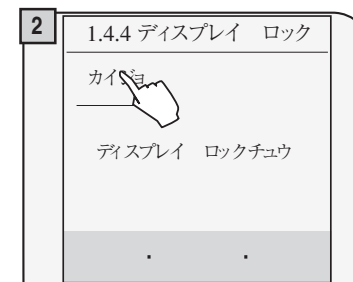
除石灰が完了したら、ドリンクメニュー抽出のためにメインメニューに戻ってください。

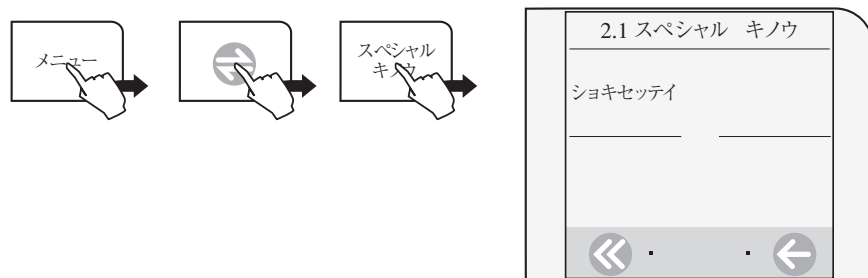
<ディスプレイロック>メニュー

ディスプレイのクリーニングをしてください。タッチ画面のディスプレイは湿らせた布か適切なディスプレイ専用クリーナーでクリーニングできます。

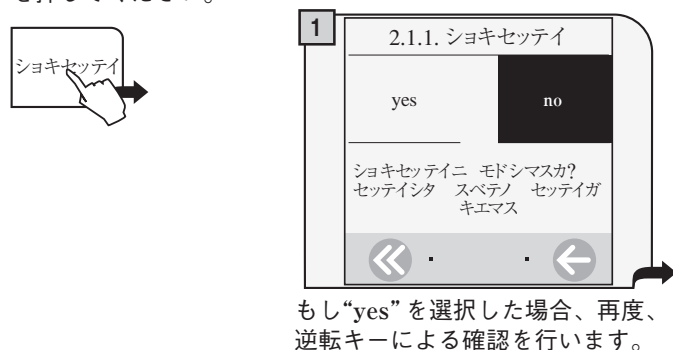
溶剤、アルコール、ざらざらした洗剤や刃物類などディスプレイを傷つける恐れのあるものの使用は避けてください。

“ディスプレイロック”を押してください。

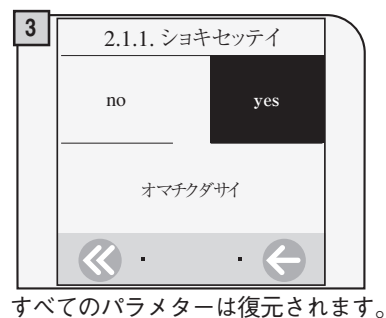
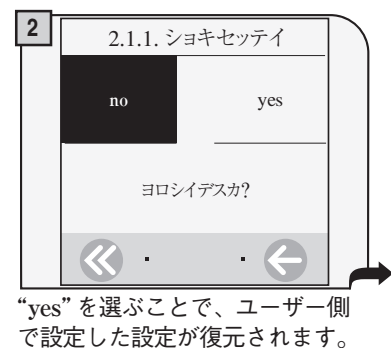
ディスプレイの再起動は下部の右角にあるカイジョを押します。その際（2秒以内に）上部の左角に再度カイジョと表示されますので、押してください。
（このメッセージは最初のキーを押すことで表示されます）

スペシャル機能

このメニューはマシンに設定されているスペシャル機能にアクセスするためのものです。
メインメニューの“スペシャル　キノウ”を押してください。

出荷時の設定

このメニューには出荷時の設定を復元するための機能も含まれています。“ショキセッテイ”を押してください。

もし“yes”を選択した場合、再度、
逆転キーによる確認を行います。

ユーザー側で設定した条件が全て失われ、復元はできません。初期設定に戻った後、もし、必要であれば、すべてのマシン機能の再設定をする必要があります。

“yes”を選ぶことで、ユーザー側で設定した設定が復元されます。

すべてのパラメターは復元されます。

マシンの通常クリーニング

以下に述べるクリーニングは毎週実施してください。
注：水が容器に残ったまま数日経過したら使用しないでください。

警告！機械を水に浸けないで下さい。

スイッチを切った状態あるいはディスプレイに指示が出ていない時にコーヒーカスを取り除くと、カスを排出する回数はリセットされません。この理由により、2、3杯抽出しただけなのに、画面に“コーヒーカス容器を空にしてください”のメッセージが現れることがあります。

スイッチを切り、電源を抜いてください。

水タンクとタンクカバーを水洗いしてください。

ドリップトレイを外し、排水を捨てて洗ってください。

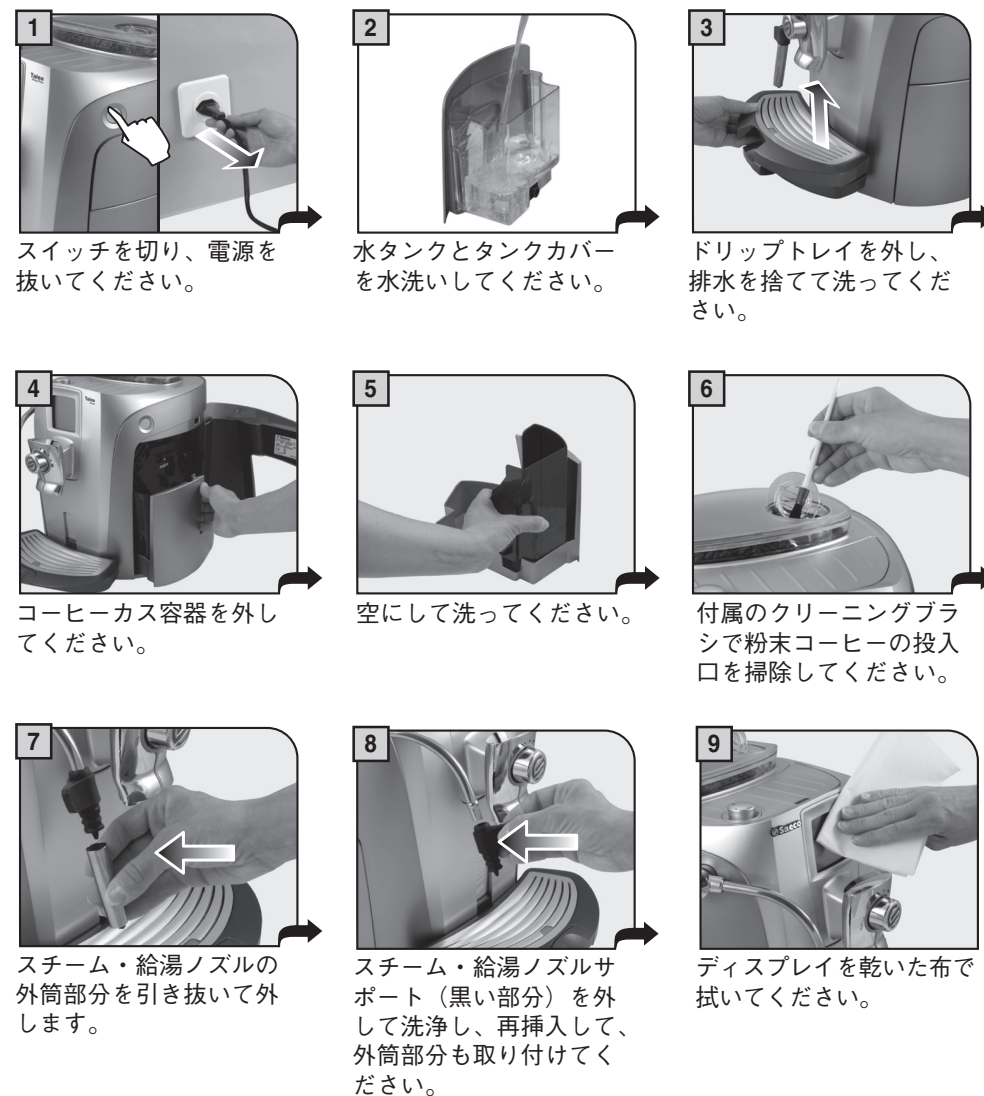
コーヒーカス容器を外してください。

空にして洗ってください。

付属のクリーニングブラシで粉末コーヒーの投入口を掃除してください。

スチーム・給湯ノズルの外筒部分を引き抜いて外します。

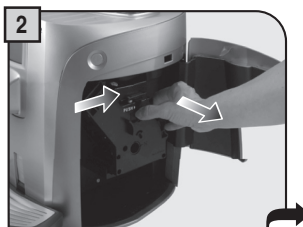
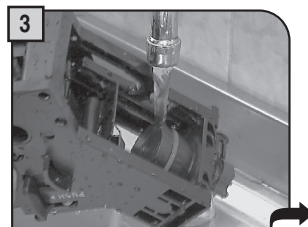
スチーム・給湯ノズルサポート（黒い部分）を外して洗浄し、再挿入して、外筒部分も取り付けてください。

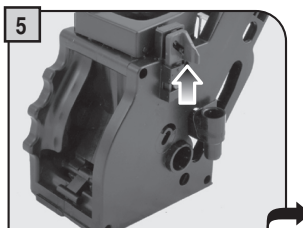
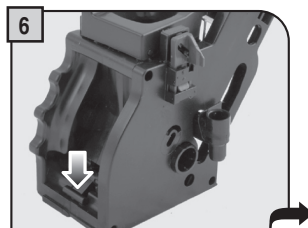
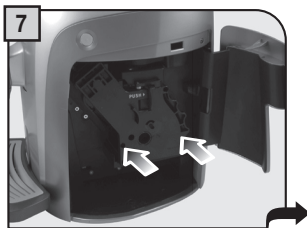
ディスプレイを乾いた布で拭いてください。

ブルーイングユニットのクリーニング

ブルーイングユニットは少なくとも週に一度は掃除ください。

ブルーイングユニットは温水で洗ってください。

警告：ブルーイングユニットの正確な動作に支障を来たす恐れがあるため洗剤で洗わないでください。また皿洗い機で洗わないでください。

1 サイドドアを開き、コーヒーカス容器を外してください。

2 プッシュボタンを押してブルーイングユニットを取り外してください。

3 ブルーイングユニットとフィルターを洗い、乾燥させてください。

4 ブルーイングユニットが休止位置にあることを確認してください。二つのマークが合っている必要があります。

5 各部品が正しい位置にセットされていることを確認してください。図に示したフックは正しい位置になければなりません；正しい位置を確認するには“プッシュ”ボタンをしっかり押してください。

6 ブルーイングユニットの後ろの部分のレバーはユニットの基部に接触していなければいけません。

7 洗浄し、乾燥したブルーイングユニットを挿入します。その時、プッシュボタンは押さないでください。

8 コーヒーカス容器を挿入してください。

9 サイドドアを閉じてください。

画面に表れる案内メッセージ	メッセージの消し方
マメヨウキカバーヲ　シメテクダサイ	ドリンクメニューの抽出できるようにするため、コーヒー豆容器カバーを閉めます。
マメヲ　イレテクダサイ	豆容器にコーヒー豆を補充してください。
ブルーイングユニットヲ　セットシテクダサイ	ブルーイングユニットを挿入してください。（P40参照）
カスヨウキヲ　セットシテクダサイ	コーヒーカス容器を挿入してください。
カスヨウキノ　カスヲ　ステテクダサイ	カス容器を外して、空にしてください。 注：カス容器はマシンの指示があった時、あるいはマシンが ON の時にのみ空にしてください。マシンが停止中にカスを捨てても、この動作は記憶されません。
サイドドアガ　アイテイマス	マシンを起動するためにはサイドドアが閉まっていなければいけません。
ミズヲ　ホジュウシテクダサイ	水タンクを外し、新鮮な飲料水を入れてください。
ドレイントレイノ　ミズヲ　ステテクダサイ	サイドドアを開け、ブルーイングユニットの下のリンシングトレイを空にしてください。
アクアプリマヲ　コウカンシテクダサイ	アクアプリマ以下の場合に交換してください。 1. 60リットルの水をろ過した時 2. 設置から90日を経過した時 3. マシンを20日間使用しなかった時 注：上記のメッセージはアクアプリマ機能の＜inserted＞ が選ばれている時のみ表示されます。（P24参照）
カラフェガ　アリマセン ミルクアイランドガ　アリマセン	スチーム・給湯ノブが 位置を指し、ミルクアイランドがセットされていない時、あるいは、水タンクが正しい位置にないときは、ミルクアイランドの正しい取り付けまたは水タンクを正しく置いてください。でなければノブは停止位置（●）まで回してください。
ジョセッカイ	マシン水経路の除石灰作業は必ず行ってください。
セツデンチュウ スタンバイ	節電機能あるいはスタンバイモードから抜けるにはstartを押してください。

SOS 緊急時の対応
即座にコードをソケットから引き抜いてください。

本機は以下の条件下でご使用ください。
・屋内での使用
・コーヒー、給湯、ミルク泡立て用としての使用
・家庭用
・精神的、肉体的に異常のない大人による使用

使用上の注意
・危険防止のためマシンを上記以外の条件下では使用しないでください。
・説明書に書いてある材料以外は使わないでください。
・容器に材料を投入する時は他の容器の蓋を閉じてください。
・新鮮な飲料水をお使いください：お湯や他の液体の使用はマシンへ損傷を与える可能性があります。
・炭酸水は使わないでください。
・コーヒーグラインダーに手を入れたり、コーヒー以外の物をいれないでください。
・コーヒーグラインダーに手を触れる時は、あらかじめメインスイッチを切り、コードをソケットから抜いてください。
・インスタントコーヒーや生豆をコーヒー豆容器に投入しないでください。
・液晶ディスプレイの操作に指以外の物は使用しないでください。

電源の接続
電源の接続は使用国の現行安全規則に従ってください。
マシンを接続するソケットは：
・マシン付属のプラグに適合したものを使用ください。
・マシンの銘板に記載された定格電力に見合う容量の電源をご用意ください。
・有効なアース接続をして下さい。

電源コードは:
・火災、感電、事故予防のために、水、その他の液体に浸からない様にして下さい。
・つぶされたり、尖った物に接触させないでください。
・マシンを動かすために引っ張らないでください。
・傷んだら使わないでください。
・湿ったり、濡れた手で触らないでください。
・コイル状に巻いた状態で使用しないでください。
・いじらないでください。

設置
・硬い、固定された平らな床を選んでください。(傾斜は 2゜以内)
・水のかかる場所に設置しないでください。
・適正使用温度：摂氏10℃～40℃/華氏50゜ F-104゜F
・上限湿度：90%
・十分に明るく、換気の良い、清潔な場所に設置し、ソケットは簡単に近づける場所にあること。
・熱源の上に置かないで下さい。
・マシン壁と料理用ホットプレートとの間は、10cm / 4インチ以上離してください。
・マシンは 0℃/華氏32度以下になるかもしれない環境下で使用しないで下さい。もし、このような環境下にさらされる場合は、弊社技術・流通センターに連絡いただければ安全点検を行います。
・可燃物、危険物の近くでマシンを使用しないでください。
・爆発性雰囲気、高濃度の浮遊ダスト、オイルミストなどが存在する場所での使用は避けてください。
・マシンを他の機器の上に設置しないでください。

危険
・お子様や操作方法の説明を受けてない方のマシン使用はおやめください。
・子供のマシン使用は危険です。子供だけにする時はプラグを抜いておいてください。
・子供の手の届くところにコーヒーマシンの箱を置いたままにしないでください。
・お湯やスチームが出ている先を自分や他人へ向けないでください。火傷の危険があります。
・マシンの開口部から物を差し込まないでください。（危険！電流！）
・濡れた手足でプラグに触れないでください。ケーブルを引っ張ってプラグを抜いたりしないでください。
・警告。　お湯、スチーム及び給湯ノズルへの接触による火傷の危険性。

故障
・落下させたりした後、故障を確信又は予感できる場合、使用しないでください。
・故障修理は全て弊社技術・流通センターか指定のサービスセンターに依頼して下さい。
・欠陥のある電源ケーブルの付いたマシンを使用しないでください。損傷した場合は製造元あるいは指定サービスセンターに取替え依頼をしてください。(警告!　電流!)
・サイドドアを開ける前にはマシンの電源を落としてください。火傷の危険性あり！

クリーニング／除石灰
・ミルクとコーヒー経路のクリーニングにはマシンに用意された推奨洗剤のみご使用ください。これらの洗剤は他の目的には使用しないでください。
・マシンクリーニングの前には、メインスイッチをOFF（0）にして、ソケットからプラグを抜き、クールダウンさせておいてください。
・マシンを水に浸けたり、水しぶきが掛からないように気をつけてください。
・マシンパーツをオーブンや電子レンジなどで乾かさないでください。
・一定期間以上使用されなかった場合は、マシン及びその構成部品は清掃、洗浄をしてからご利用ください。

交換部品
安全上の理由から、オリジナル交換部品及びオリジナルアクセサリーのみご使用ください。

廃棄処理
・包装資材はリサイクルできます。
・マシン：プラグを抜いて、電源コードを切ってください。
・マシンと電源コードをサービスセンターあるいは公共の廃棄物処理場へ引き渡してください。

この製品はＥＵ指令２００２/９６/ＥＣに適合しています。
マシンや包装箱についているシンボルはこの製品が家庭用廃棄物として処理できないかもしれないことを示しています。代わりに電気、電子器具のリサイクルのための適切なごみ集積場へ引き渡すことになります。
この製品を正しく廃棄することを保証することによって、不適切な廃棄処理によってもたらされる環境と人の健康に対する悪影響を予防する助けとなります。
この製品に対するさらに詳しいリサイクル情報については、地域の市役所、ごみ処理業者、あるいは製品を購入したお店にお問い合わせください。

火災予防
火災の場合は炭酸ガス消火器をお使いください。
水及び粉末消火器は使用しないで下さい。

保証書

- このサエコ エスプレッソマシンには、保証書を別途添付しております。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入をお確かめの上、大切に保管してください。
- このサエコ エスプレッソマシンの保証期間はお買い上げいただいた日から１年間です。その他、詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品を指します。
- 本エスプレッソマシンの補修用性能部品保有期間は、製造打ち切り後、5年です。
- 保有期間経過後も部品を保有している場合がございますので、お問い合せください。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- ご不明な点や、修理に関するご相談は下記へご連絡ください。
- 35、36ページの記載に従って製品を調べていただき、なお異常がある時は使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いてから下記へご連絡ください。

日本サエコ株式会社　技術・流通センター
TEL：050-5525-7025

平　　日：AM 9：00 〜 PM 18：00
土･日･祝日：AM 10：00 〜 PM 17：00

修理のご依頼は

- 故障と間違えやすい状況が発生することがございますので、35、36ページの記載を事前にご確認ください。また、ご依頼の前に技術・流通センターへご相談されることをお薦めいたします。
- 修理を依頼される際は次頁に必要事項をご記入の上、お手数ですが製品を梱包していただき、下記までご送付ください。（宅配便利用：お送りいただく際の送料は、お客様のご負担となることをご了承ください）

日本サエコ㈱ 東京サービスセンター
（東日本担当）
〒103-0024
東京都中央区日本橋小舟町10-2
阪英第２ビル
電話：050-5525-7025
（弊社 技術流通センターの電話番号です）

日本サエコ㈱ 西日本サービスセンター
〒665-0823
兵庫県宝塚市安倉南1-9-41
電話：0797-84-0344
（平日　AM 9：00〜PM 18：00）

修理依頼日	年　　月　　日
ご依頼主	お名前
	ご住所
	電話番号
	FAX番号
マシン名	Talea Touch（タレア　タッチ） シリアルNo.【　　　　　　】
故障状況	□ マシン下より水漏れ　□ お湯抽出せず □ 空気抜き表示解除できず　□ スチーム出ず □ 動作時異音　□ 適正温度待ち解除せず □ コーヒー抽出せず　□ グラインダー動かず □ 破損 □ その他（　　　）
見積書提出	□ 要　／　□ 不要
修理完了機のご返送先（ご依頼主と違う場合のみ）	
備　考	

技術データ

公称電圧	器具のラベル参照
電力定格	器具のラベル参照
電源	器具のラベル参照
本体材料	ABS一熱可塑性プラスティック
サイズ（幅×奥行×高さ）	320×370×400 mm －12.60”x14.57”x15.75”
重量	9 Kg － 19.8 lbs
電源コードの長さ	1200 mm － 47.24”
コントロールパネル	フロント（タッチスクリーン）
水タンク容量	1.7リットル－57.5オンス / 取り外し可能
豆容器容量	250グラム－8.9オンス
ポンプ圧力（気圧）	15気圧
ボイラー	ステンレス製
コーヒーグラインダー	セラミックグラインダー
コーヒーの分量	7 - 10.5グラム / 0.25－0.37 オンス
コーヒーカス受け容量	14
安全装置	ボイラ圧安全弁 - 2重安全サーモスタット

改良のため、仕様および性能の一部を予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

本エスプレッソマシンは、電磁適合性に関してEU指令 89 / 336 / EEC（イタリア政令476日付04/12/92付）の基準に適合しています。